



2021年3月22日

各位

東京都千代田区外神田三丁目14番10号
株式会社 ハ ブ
代表取締役社長
兼 危機対策推進最高責任者 太 田 剛
(コード番号 : 3030)
問合せ先 取締役管理本部長 高見 幸夫
電話番号 03-3526-8682

株式会社ミクシィとの業務提携に関する基本契約書及びTech Growth Capital有限責任事業組合との投資契約書の締結、第三者割当による新株式の発行、当社株式の売出し並びに主要株主である筆頭株主の異動及びその他の関係会社の異動に関するお知らせ

当社は、2021年3月22日開催の取締役会において、株式会社ミクシィ（以下「ミクシィ」といいます。）との間で業務提携に関する基本契約書（以下「本業務提携基本契約書」といいます。）を、Tech Growth Capital有限責任事業組合（以下「割当予定先」又は「Tech Growth Capital」といいます。）との間で投資契約書（以下「本投資契約書」といいます。）を、それぞれ締結すること、及びTech Growth Capitalに対する第三者割当による新株式の発行（以下「本第三者割当増資」といいます。）を行うことについて決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、当社は、当社の筆頭株主兼主要株主であるロイヤルホールディングス株式会社（以下「ロイヤルホールディングス」といいます。）により当社株式の売出し（以下「本売出し」といいます。）が行われることを認識しましたので、お知らせいたします。

併せて、本第三者割当増資及び本売出しに伴い、当社の主要株主である筆頭株主及びその他の関係会社の異動が見込まれますので、お知らせいたします。

I. 本業務提携基本契約書及び本投資契約書の締結の概要

1. 本業務提携基本契約書及び本投資契約書の締結の目的及び理由

当社は、「英国風PUB」を通じ、「感動文化創造事業」を展開することによってお客様、お取引先様、従業員及びすべてのステークホルダーがポジティブになる「場」を提供し、東北、関東、中部、関西及び九州地域で英国風PUBチェーン109店舗（2021年3月22日現在、ただし閉店決定9店舗を含む）を運営しております。デジタルな世の中にあって敢えてアナログな「場」を大切に、英国PUB文化を日本に普及させることで日本の暮らし・社会をより一層豊かなものにすることを目指しております。

近年は、福岡2店舗目となる「HUB福岡大名店」と、Jリーグチーム「名古屋グランパス」の名を冠したタイアップ店舗「HUB GRAMPUS PUB 名古屋テレビ塔店」を新規にオープンいたしました。

しかしながら、近時、外出自粛や都道府県を跨ぐ移動制限をはじめとして、新型コロナウイルス感染症拡大により人々の行動及び生活様式が大きく変化したことを主要要因とした需要の急減により、当社事業は非常に大きな打撃を受け、かつてないほどの厳し

い経営環境にあると言わざるを得ない状況が継続しております。

このような状況のもと、当社はお客様と従業員の安全を最優先し、「1. 従業員の手洗い及びアルコール消毒の徹底」「2. 従業員の出勤前の検温及びそれに基づく出勤停止措置の徹底」「3. アルコール消毒液の店内設置」「4. 営業時間の短縮」「5. 従業員のマスク着用」などの対策に加え、「6. 店舗入口でのお客様への検温・手指の消毒の依頼」「7. 店内マスク着用のお客様への依頼」等を徹底したうえでの営業を実施してまいりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大に歯止めがかからず収束の兆しが見えない社会状況を鑑み、感染拡大防止の観点から、政府による1度目の緊急事態宣言の影響を受け、緊急事態宣言前後において約2ヵ月間の全店休業を実施、自治体からの複数回にわたる営業時間短縮要請にも応じると同時に、あらゆる角度から全社的に経費の見直しを行い、役員報酬・賞与減額等による人件費の削減、その他の販売費及び営業費用も含めた聖域なきコスト削減に全社一丸となって取り組んでまいりました。

また、上記のコスト削減と同時に店舗運営の枠組みを越えた今後の新たな収益基盤となり得る事業の構築を目指し、当社店舗「HUB」ブランドで人気の一部フードメニューの期間限定によるWEB販売の実施、「HUB」オリジナルビール「ハブエール」のテイクアウト販売及びWEB販売等も開始しております。また、コロナ禍により夜の飲酒需要が減少する中、ランチタイムを含む早い時間帯の収益を確保するため、19時までのタイムサービス「ハッピーアワー」中にさらにお得になるドリンク＋フードメニューセットの販売やロイヤルホールディングスプロデュースフードメニュー「HUB CURRY」シリーズの販売を2020年10月より開始いたしました。

しかし、首都圏での2度目の緊急事態宣言発出を受け、2021年1月9日より一部店舗で休業を余儀なくされております。さらに同年1月13日より関西・中部・福岡にも緊急事態宣言が拡大され、同年1月14日以降は5店舗を除き全店休業をしており、当該5店舗でも営業時間短縮要請に従い、20時に閉店するなど限られた状況で店舗運営を行ってまいりました。同年3月1日の福岡、大阪など6府県での緊急事態宣言解除、また首都圏での同月21日の緊急事態宣言解除を受け、対象エリアの店舗から順次営業を再開してまいりましたが、依然、厳しい状況には変わりありません。

また、財務の安定性に関しては、「手元流動性の確保」として2020年4月30日に金融機関4行から2,000百万円の借入を実施し、また不確実な環境変化に備え同日付で金融機関3行と3,500百万円のコミットメントライン契約を締結しております。

しかしながら、上記のとおり、「緊急事態への対応」に係る一連の取り組みは一定の成果を上げているものの、当社は、自己資本の増強及び自己資本比率の改善の必要性を認識するとともに、現状のビジネスモデルに新たな付加価値を生み出す異業種の企業とのアライアンスを模索してまいりました。

このような背景のもと、当社は、2020年9月頃から、第三者との資本業務提携の検討を開始し、幅広く情報を収集してまいりました。そして、同年10月には、従来から取引のある金融機関との間で、新たなアライアンスパートナーの候補先についてディスカッションを行いました。その結果、当社は翌11月に当該金融機関からTech Growth Capital（並びにXTech株式会社（以下、XTechといいます。）及びミクシィ）の紹介を受け、第三者割当増資を含む資本業務提携の提案を受領し、同年12月から具体的な提案に基づくディスカッションを開始いたしました。

その結果、当社は、当社とミクシィ側の保有するアセットを活用したサービスの拡充や新規事業の開発、そして両者の強みを活用したユーザー体験の価値向上やマーケティングの推進が、両者の得られる果実を最大化し、当社の企業価値の向上につながるものと判断いたしました。

また、当社の2021年2月期第3四半期累計期間の売上高は3,288百万円（前年同期比64.3%減）、営業損失は1,109百万円（前年同期比1,692百万円の減益）、経常損失は1,111百万円（前年同期比1,703百万円の減益）、四半期純損失は1,967百万円（前年同期比2,367百万円の減益）となりました。そのため純資産も大きく減少した結果、自己資本比率が37.7%と当事業年度の期首（71.7%）と比較して約34%も下落しており、今後もコロナ禍が収束するまでは厳しい損益状況が続くと見込まれます。そのため、第三者割当増資の方法を採ることは、自己資本比率を回復させる必要がある当社の現状に沿うものと判断いたしました。このような過程を経て、当社は、2021年1月に、Tech Growth Capitalをアライアンスパートナーとして、資本業務提携を前提に協議を進めることをTech Growth Capital側に伝え、翌2月には、本第三者割当増資の条件、並びに本第三者割当増資実行後の本業務提携（役員体制、経営参画体制、業務提携契約の概要等）の提案を受け、詳細について検討してまいりました。

以上の事実関係のもと、当社は、本第三者割当増資を実行してTech Growth Capitalと資本業務関係を構築することが、当社の中長期的な企業価値向上につながり、ひいては既存株主の株式価値向上に資すると判断し、本第三者割当増資を行うことを決議いたしました。

2. 本業務提携基本契約書及び本投資契約書の内容等

(1) 本業務提携基本契約書の内容

本業務提携基本契約書は、当社及びミクシィのそれぞれが保有する経営資源や両社の強みを相互に活用し、以下の取組みを共同で行うにあたり、当社とミクシィ間の基本的な役割及び提携に係る条件を定めると共に、当該取組みの実施のために別途協議が必要な事項を明確にし、もって円滑に当該取組みを遂行することを目的として締結いたしました。当社及びミクシィは、当該取組みに係る個々の具体的な提携内容の細目について別途協議の上、具体的な取組みごとに、個別契約を締結するものとしております。

① 取組み

本契約において当社及びミクシィが共同で行う取組みは、以下のとおりです。

- ・ 両当事者それぞれが保有する経営資源を相互に活用することによる、それぞれのサービスの拡充及び新規事業の検討・開発
- ・ 両当事者が共同して行う新業態（既存又は新規店舗を活用するものを含む。）への投資及び新業態の企画、開発並びに運営
- ・ 両当事者それぞれの強みを活かしたユーザー体験の向上及びマーケティングの推進
- ・ その他当社及びミクシィが別途合意した事項

② 役割分担

当社の役割は以下のとおりです。

- ・ 当社の店舗における、ミクシィ及びその子会社又は関連会社（以下、総称して「ミクシィグループ」といいます。）の提供するサービスとのコラボレーション（以下「本件コラボレーション」といいます。）の実施（ポップ、限定ドリンク販売、店舗ごとのレイアウト調整、コンテンツ配信等）
- ・ マーケティング強化におけるミクシィグループとの連携
- ・ ミクシィグループが提供する新規サービスの導入
- ・ その他当社及びミクシィが別途合意した事項

ミクシィの役割は以下のとおりです。

- ・ ミクシィグループの提供する各種サービスにおいて当社の宣伝等を行うことによる、ミクシィグループの顧客・ユーザーに対する当社店舗への誘引
- ・ 当社の店舗内で放映する映像コンテンツの提供及び映像・配信コンテンツに係る権利関係の整備・調整支援
- ・ マーケティング、イベント企画支援
- ・ 新規事業の検討及び提案
- ・ その他当社及びミクシィが別途合意した事項

③ 目標事項

- ・ 当社及びミクシィは、本件コラボレーションを、両当事者が合理的に満足いく十分な規模・頻度で実施するものとし、かかる実施のために、最大限協力しなければならない。
- ・ 当社及びミクシィは、ミクシィグループが当社に提案する企画又は事業その他計画につき、これを実行し実現するよう最大限努力する義務を負う。
- ・ これらの事項の達成のため、当社及びミクシィは、それぞれ必要な体制を構築しなければならない。

(2) 本投資契約書の内容

当社は、本第三者割当増資によりTech Growth Capitalに当社が発行する新株式（普通株式1,564,900株。本第三者割当増資後の発行済株式総数に対する割合20.02%）を割り当てます。

なお、本業務提携基本契約書に基づく業務提携（以下「本業務提携」といいます。）を行うにあたり、Tech Growth Capitalは当社議決権の20%程度の株式の取得を目指しておりますが、当社の資金需要、株主構成及び当社普通株式の新規発行による希薄化の状況を勘案して、本第三者割当増資のほか、現在当社の筆頭株主兼主要株主であるロイヤルホールディングスより、同社が保有する当社普通株式の一部である952,700株が本売出しによりTech Growth Capitalに譲渡される予定です。本第三者割当増資及び本売出しにより、当社はTech Growth Capital及びミクシィの持分法適用会社となる予定です。本第三者割当増資及び本売出しの詳細は、後記「Ⅱ. 第三者割当による新株式の発行」及び「Ⅲ. 株式の売出し」をご参照ください。

本第三者割当増資によりTech Growth Capitalが当社の発行する普通株式を引き受けるにあたり締結された本投資契約書では、以下の事項が合意されております。本第三者割当増資における払込み（以下「本払込み」といいます。）の実行後、Tech Growth Capital

は、当社の非業務執行取締役候補者2名を指名する権利を有し、Tech Growth Capitalが当該権利を行使した場合には、当社は、法律等に違反しない限り、当該指名された者を取締役候補者に含む取締役選任議案を当社の取締役会決議に基づき株主総会に付議するものとする。また、当社は、当該取締役との間で責任限定契約を締結するほか、Tech Growth Capitalから求めがあった場合には、合理的な条件のD&O保険を付保するものとする。

本払込みの実行後、Tech Growth Capitalは、その指名する者（ただし、Tech Growth Capital等の役職員に限るものとし、以下、「オブザーバー」といいます。）を、Tech Growth Capital及び当社間で別途合意した当社の会議体（以下「HUB会議体」といいます。）に参加させることができるものとする。当社は、オブザーバーに対して、当社の取締役その他会議体の構成員に招集通知を発すべき時と同時に、当該構成員に対し同時に提供される資料を提供の上、招集通知を発送するものとする。但し、Tech Growth Capitalは、オブザーバーをして、提供されたすべての情報について、秘密として厳重に保持し管理することに合意させるものとし、HUBは、当該情報をオブザーバーに提供した場合若しくはオブザーバーを当該HUB会議体に参加させた場合には、営業秘密が漏えいするおそれがあると合理的に認められる場合には、当該情報を留保し、オブザーバーをHUB会議体の全部又は一部について参加させないことができるものとする。

当社及びTech Growth Capitalは、本払込みの実行後、当社の事業概況に係る情報共有、情報交換及び本業務提携の進捗確認等を目的として、定期的に、定例会議を実施するものとする。かかる定例会議の開催時期、頻度、議題及び参加者等の詳細は、別途協議の上定めるものとする。

当社及びTech Growth Capitalは、本払込みの実行後、当社の企業価値向上のためのコーポレートガバナンス強化（実効性のある当社の取締役会の構築に関するテーマその他のコーポレートガバナンス上の論点を含むが、これに限られない。）に向けて、定期的に協議を行うものとする。

3. 本業務提携基本契約書締結先及び本投資契約書締結先の概要

(1) 本業務提携基本契約書締結先

(1) 名 称	株式会社ミクシィ		
(2) 所 在 地	東京都渋谷区渋谷二丁目24番12号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 木村 弘毅		
(4) 事 業 内 容	デジタルエンターテインメント、スポーツ、ライフスタイル		
(5) 資 本 金	9,698百万円 (2020年12月31日現在)		
(6) 設 立 年 月 日	1999年6月3日		
(7) 発 行 済 株 式 数	78,230,850 株 (2020年12月31日現在)		
(8) 決 算 期	3月31日		
(9) 従 業 員 数	(連結) 1,132人 (2020年12月31日現在)		
(10) 主 要 取 引 先	Apple Inc.、Google Inc.		
(11) 主 要 取 引 銀 行	株式会社三菱UFJ銀行 株式会社三井住友銀行		
(12) 大株主及び持株比率 (2020年9月30日現在)	笠原 健治		43.79%
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社		3.88%
	THE BANK OF NEW YORK MELLON 140051		3.68%
	株式会社日本カストディ銀行		2.57%
	STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505038		2.29%
	THE BANK OF NEW YORK 133612		1.94%
	木村 弘毅		1.59%
	NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE IEDU UCITS CLIENTS NON LENDING 15 PCT TREATY ACCOUNT		1.38%
	NORTHERN TRUST CO. (AVFC) SUB A/C NON TREATY		1.07%
	SMBC日興証券株式会社		1.05%
(13) 当事会社間の関係			
資 本 関 係	該当事項はございません		
人 的 関 係	該当事項はございません		
取 引 関 係	該当事項はございません		
関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	該当事項はございません		
(14) 最近3年間の経営成績及び財政状態 (連結)			
決 算 期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
連 結 純 資 産	170,434百万円	178,990百万円	180,938百万円
連 結 総 資 産	192,123百万円	192,955百万円	199,978百万円
1株当たり連結純資産(円)	2,176.88円	2,368.05円	2,387.56円
連 結 売 上 高	189,094百万円	144,032百万円	112,171百万円
連 結 営 業 利 益	72,359百万円	41,033百万円	17,165百万円
連 結 経 常 利 益	72,717百万円	41,120百万円	16,933百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	41,788百万円	26,521百万円	10,724百万円
1株当たり当期純利益(円)	533.48円	350.26円	142.33円
1株当たり配当金(円)	121.00円	120.00円	110.00円

(2) 本投資契約書締結先

a. 割当予定先の概要	名称	Tech Growth Capital有限責任事業組合		
	所在地	東京都中央区八重洲一丁目5番20号東京建物八重洲さくら通りビル3階		
	設立根拠等	有限責任事業組合契約に関する法律		
	組成目的	上場企業の株式、新株予約権、新株予約権付社債その他の有価証券の取得、保有及び利用 上場企業に対する企業の買収合併若しくは提携、又は事業若しくは有価証券の譲渡に関する指導、仲介及び斡旋 上場企業に対する経営コンサルティング業務 その他これらに付帯する一切の業務		
	組成日	2020年11月20日		
	出資額の総額	3,000百万円		
	主たる出資者及びその出資比率	株式会社ミクシィ 99.98% XTech株式会社 0.02%		
	業務執行組合員又はこれに類する者	名称	XTech株式会社	
		本店の所在地	東京都中央区八重洲一丁目5番20号東京建物八重洲さくら通りビル3階	
		代表者の役職・氏名	代表取締役 西條晋一	
		事業内容	インターネットサービス業	
		資本金の額	9,190,000円	
		主たる出資者及び出資比率	西條 晋一 60.00% 株式会社ハイランドハウス 40.00%	
	業務執行組合員又はこれに類する者	名称	株式会社ミクシィ	
		本店の所在地	東京都渋谷区渋谷二丁目24番12号渋谷スクランブルスクエア	
代表者の役職・氏名		代表取締役社長 木村弘毅		
事業内容		デジタルエンターテインメント スポーツ ライフスタイル		
資本金の額		9,698,907,500円		
主たる出資者及び出資比率		笠原 健治 43.79% 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) 3.88% THE BANK OF NEW YORK MELLON 140051(常任代理人 株式会社みずほ銀行) 3.68%		
b. 提出者と割当予定先との関係	出資関係	当社が保有している割当予定先の株式の数	該当事項はありません。	
	出資関係	割当予定先が保有している当社の株式の数	該当事項はありません。	

人事関係	該当事項はありません。
資金関係	該当事項はありません。
技術関係	該当事項はありません。
取引関係	該当事項はありません。

※割当予定先の出資総額の99.98%をミクシィが出資しております。ミクシィは株式会社東京証券取引所（以下「東京証券取引所」といいます。）市場第一部に上場しており、2020年6月29日付の「コーポレートガバナンス報告書」においても、反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方及びその整備状況を公表しているため、当社は、ミクシィ及びその役員又は主要株主が反社会的勢力とは一切関係がないと判断しており、その旨の確認書を東京証券取引所に提出しています。

4. 本業務提携基本契約書及び本投資契約書に係る日程

(1) 取締役会決議日	2021年3月22日
(2) 契約締結日	2021年3月22日
(3) 本第三者割当増資に係る払込期日	2021年4月14日

5. 今後の見通し

今後の見通しについては、後記「II. 第三者割当による新株式の発行 8. 今後の見通し」をご参照ください。

II. 第三者割当による新株式の発行

1. 募集の概要

(1) 払込期日	2021年4月14日（水）
(2) 発行新株式数	1,564,900株
(3) 発行価額	1株につき639円
(4) 調達資金の額	999,971,100円
(5) 募集又は割当方法 （割当予定先）	第三者割当の方法による （Tech Growth Capital有限責任事業組合）
(6) その他	上記各項については、金融商品取引法による届出の効力が発生していることを条件とします。

2. 募集の目的及び理由

前記「I. 本業務提携基本契約書及び本投資契約書の締結の概要 1. 本業務提携基本契約書及び本投資契約書の締結の目的及び理由」をご参照ください。

3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

(1) 調達する資金の額

① 払込金額の総額	999,971,100円
② 発行諸費用の概算額	13,000,000円
③ 差引手取概算額	986,971,100円

(注) 1. 発行諸費用の概算額には、消費税等は含まれておりません。

2. 発行諸費用の概算の内訳は、ファイナンシャルアドバイザー費用、登記関連費用、弁護士費用、有価証券届出書作成費用等であります。

(2) 調達する資金の具体的な使途

本第三者割当増資による上記の差引手取概算額986,971,100円は、以下のとおり、新規事業投資、既存事業投資及び店舗新設投資の資金に充当する予定であります。

具体的な使途	金額(百万円)	支出予定時期
--------	---------	--------

1 新規事業投資	200	2021年5月から2025年2月
2 既存事業投資	286	2021年5月から2025年2月
3 店舗新設投資	500	2021年5月から2025年2月
合計	986	

- (注) 1. 当社は、本第三者割当増資の払込みにより調達した資金を上記の資金使途に充当するまでの間、銀行預金にて安定的な資金管理を図る予定であります。
2. 資金を使用する優先順位は、現時点では定めておらず、支出時期が早い事項から順次充当する予定であります。

1 新規事業投資

《資金使途》

項目	金額（百万円）
新規事業投資	200
合計	200

- ミクシィが運営する各サービスとの共同コンセプトに基づく当社の店舗開発、ライブビューイングなどにおけるミクシィのサービス・コンテンツと連携した新規事業開発を予定しております。これらは、当社と割当予定先の組合員であるミクシィとの間で締結する本業務提携基本契約書に基づき行うことを企図しております（なお、本業務提携基本契約書において具体的な開発に向けた取組みは今後検討していくこととされており、現時点において決定した事実はございませんが、決定次第、適時適切に開示いたします。）。なお、本業務提携の概要につきましては、前記「I. 本業務提携基本契約書及び投資契約書の締結の概要 2. 本業務提携基本契約書及び本投資契約書の内容等（1）本業務提携基本契約書の内容」をご参照ください。当社としては、新コンセプト店を開発することによって時代に即した店舗開発を行うことで、新たな顧客層の取り込みを目指しております。

2 既存事業投資

《資金使途》

項目	金額（百万円）
既存店舗改装工事	276
その他	10
合計	286

- 既存店舗改装工事としては、感染予防対策強化（2022年2月期100店舗30百万円）、食事メニュー強化、経年劣化対策投資（2022年2月期35店舗50百万円、2023年2月期26店舗86百万円、2024年2月期28店舗30百万円、2025年2月期24店舗、80百万円）を考えております。
- その他は、以下2つの観点からの投資であります。
HUBトラック（キッチンカー）事業への投資
2021年3月からスタートしている新たな業態であり、実験的運用として、スポーツイベント等の外部イベントに出店しております。現状1台にて運用しておりますが、今後、市場性、事業性の可能性に応じて順次拡大していくことを予定しております。
ECサイトなど変化に対応する新たなビジネス展開
店舗運営の枠組みを越えた今後の新たな収益基盤となり得る事業の構築を図り、当社店舗「HUB」ブランドで人気の一部フードメニューの期間限定WEB販売を実施し、「HUB」オリジナルビール「ハブエール」のテイクアウト販売及びWEB販売等をスタートしております。さらなる収益拡大の為新商品の開発を含めメニューラインナップの拡充予定であります。

3 店舗新設投資

《資金使途》

項目	金額（百万円）
店舗新設投資	450
売店施設投資	50
合計	500

- 新型コロナウイルス感染症拡大の社会情勢等を考慮しつつ、事業拡大のため、新規出店を継続的

に進めてまいります。店舗出店は既存の中心ブランドHUBで合計6店舗、売店は6施設を計画しております。現状の店舗としては、福岡2店舗目となる「HUB福岡大名店」と、この度リニューアルされました久屋大通公園内、名古屋のランドマークである名古屋テレビ塔直下の敷地に、Jリーグチーム「名古屋グランパス」の名を冠したタイアップ店舗「HUB GRAMPUS PUB 名古屋テレビ塔店」を新規にオープンいたしました。一方、新型コロナウイルス感染拡大の影響を踏まえた場合、収益化までの期間を特に要すると判断した3店舗、また、定期建物賃貸借契約期間満了による3店舗の計6店舗を閉店し、第3四半期会計期間末現在における店舗数は110店舗となっております。

4. 資金使途の合理性に関する考え方

前記「3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期 (2) 調達する資金の具体的使途」に記載のとおり使途に充当することを予定しており、本業務提携及びその一環であるこれらの投資が現状のビジネスモデルに新たな付加価値を生み出すものに繋がり、今後の当社の成長を促し、当社の中長期的な企業価値の向上に資するとともに、当社の財務体質の強化に繋がり、ひいては既存株主の利益に資するものと考えており、かかる資金使途は合理性があるものと判断しております。

5. 発行条件等の合理性

(1) 払込金額の算定根拠及びその具体的内容

発行価格については、本取締役会決議の日(2021年3月22日)の直前営業日である2021年3月19日の東京証券取引所における当社株式の終値に対して0.9を乗じた金額である639円といたしました。

本第三者割当増資に係る取締役会決議日の直前営業日の終値を基準としたのは、取締役会決議日直近の市場株価であり算定根拠として客観性が高く、かつ合理的であると判断し、割当予定先と協議の上決定したものです。

上記理由により、当該発行価格は特に有利な払込金額には該当しないと判断いたしました。なお、上記発行価格につきましては、取締役会に出席した監査役3名全員(うち2名は社外監査役)からも、上記算定根拠による発行価格の決定は適正・妥当であり、かつ日本証券業協会の「第三者割当増資の取扱いに関する指針」に準拠したものであり、特に有利な払込金額には該当しない旨の意見をいただいております。

なお、発行価格639円は、本取締役会決議日の直前営業日までの1ヶ月間(2021年2月22日から2021年3月19日)の終値平均値687円(単位未満四捨五入。終値平均につき以下同様)に対し6.99%のディスカウント、同3ヶ月間(2020年12月21日から2021年3月19日)の終値平均値683円に対し6.44%のディスカウント、同6ヶ月間(2020年9月23日から2021年3月19日)の終値平均値627円に対し1.91%のプレミアムとなります。

(2) 発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

本第三者割当増資に係る株式数は、1,564,900株(議決権数15,649個)であり、これは2021年2月末時点の当社の発行済株式総数11,265,300株に対して13.89%(総議決権数110,091個に対して14.21%)であるため、株式の希薄化の程度及び流通市場への影響は軽微であると考えております。

また、割当予定先が発行される株式を短期売買目的で保有するものではなく、発行される株式が早期に売却される可能性が低いこと、また、本第三者割当増資は、財務状態の安定化を図り、収益力の強化に取り組むことで今後の成長基盤の確立と企業価値向上に資するものであり、ひいては既存株主の株式価値向上にもつながるものと考えており、本第三者割当増資による発行数量及び株式の希薄化の規模は合理的であると判断しております。

6. 割当予定先の選定理由等

(1) 割当予定先の概要

前記「I. 本業務提携基本契約書及び本投資契約書の概要 3. 本業務提携基本契約書締結先及び本投資契約書締結先の概要」をご参照ください。

(2) 割当予定先を選定した理由

前記「I. 本業務提携基本契約書及び本投資契約書の概要 1. 本業務提携基本契約書及び本投資契約書の締結の目的及び理由」をご参照ください。

(3) 割当予定先の保有方針

当社は、割当予定先より、本第三者割当増資による株式の取得は当社との関係強化を目的とした投資であり、割当予定先の存続期間内において、一定程度長期的に継続して保有する方針であることを口頭で確認しております。なお、当社は割当予定先から、割当予定先が払込期日から2年以内に本第三者割当増資により発行される当社普通株式の全部又は一部を譲渡した場合には、その内容を当社に対して書面により報告すること、当社が当該報告内容を東京証券取引所に報告すること、並びに当該報告内容が公衆の縦覧に供されることに同意することにつき、確約書を受領する予定であります。

(4) 割当予定先の払込みに要する財産の存在について確認した内容

当社は、割当予定先の払込みに要する財産の存在については、2021年3月24日時点において割当予定先がその組合員に対してキャピタルコールにより確保可能な金額の残高が払込みに要する資金を上回っていること、割当予定先の組合員はキャピタルコールを受けた場合には出資を行うことが義務付けられていること、及び、割当予定先の組合員がキャピタルコールを受けた場合に出資を行うための十分な資金を有していることを、2021年3月22日までに、ミクシィよりヒアリングにて確認していることから、当社は割当予定先が本第三者割当増資において発行される株式の発行価額総額の払込みに要する金額を有しているものと判断いたしました。

7. 第三者割当後の大株主及び持株比率

募集前 (2021年2月28日現在)		募集後	
ロイヤルホールディングス株式会社	29.51%	Tech Growth Capital有限責任事業組合	20.02%
株式会社久世	9.97%	ロイヤルホールディングス株式会社	18.26%
みのりホールディングス株式会社	7.54%	株式会社久世	8.73%
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー505224 (常任代理 人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	5.00%	みのりホールディングス株式会社	6.60%
日本マスタートラスト信託銀行株式会 社 (信託口)	2.58%	ステート ストリート バンク アンド ト ラスト カンパニー505224 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	4.37%
高野 慎一	2.06%	日本マスタートラスト信託銀行株式会 社 (信託口)	2.25%
ハブ社員持株会	1.72%	高野 慎一	1.80%
太田 剛	1.04%	ハブ社員持株会	1.51%
株式会社日本カストディ銀行 (信託口 5)	0.80%	太田 剛	0.91%
武井 信達	0.78%	株式会社日本カストディ銀行 (信託口 5)	0.70%

(注) 1. 募集前の大株主の持株比率は、2021年2月28日現在の株主名簿を基準としたものを記載しております。

2. 募集後のTech Growth Capital及びロイヤルホールディングスの持株比率については、本第三者割当増資に先立って行われるロイヤルホールディングスによる割当予定先への株式譲渡により変動する保有株式952,700株を加算又は減算して算出したものを記載しております。

3. 上表における持株比率は、小数点以下第3位を四捨五入して表示しております。

8. 今後の見通し

本業務提携及び本第三者割当増資が当社の業績に与える影響については現在精査中であり、今後、業績予想修正の必要性その他公表すべき事項が生じた場合には、速やかに公表いたします。

9. 企業行動規範上の手続き

本第三者割当増資は、① 希薄化率が25%未満であること、② 支配株主の異動を伴うものではないことから、東京証券取引所の定める上場規程第432条に定める独立第三者からの意見入手及び株主の意思確認手続きは要しません。

10. 最近3年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

(1) 最近3年間の業績

	2018年2月期	2019年2月期	2020年2月期
売上高	11,049百万円	11,616百万円	12,119百万円
営業利益	777百万円	790百万円	710百万円
経常利益	780百万円	796百万円	718百万円
当期純利益	497百万円	531百万円	470百万円
1株当たり当期純利益	44.19円	47.16円	41.9円
1株当たり配当金	13円	14円	7円
1株当たり純資産	340.36円	374.52円	386.72円

(2) 現時点における発行済株式数及び潜在株式数の状況 (2021年2月28日現在)

	株式数	発行済株式数に対する比率
発行済株式数	11,265,300株	100%
現時点の転換価額(行使価額)における潜在株式数	-	-
下限値の転換価額(行使価額)における潜在株式数	-	-
上限値の転換価額(行使価額)における潜在株式数	-	-

(3) 最近の株価の状況

① 最近3年間の状況

	2018年2月期	2019年2月期	2020年2月期
始値	1,210円	975円	794円
高値	1,350円	1,445円	876円
安値	812円	794円	501円
終値	973円	794円	684円

② 最近6か月間の状況

	2020年10月	2020年11月	2020年12月	2021年1月	2021年2月	2021年3月
始値	690円	588円	590円	542円	653円	693円
高値	697円	683円	593円	680円	730円	710円
安値	581円	586円	532円	528円	624円	649円
終値	588円	593円	542円	655円	684円	710円

(注) 2021年3月の株価については、2021年3月19日現在で表示しております。

③ 発行決議日前営業日における株価

	2021年3月19日
始値	703円
高値	710円
安値	690円

終 値	710 円
-----	-------

(4) 最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況
該当事項はありません。

11. 発行要項

(1) 株式の種類及び数	普通株式 1,564,900株
(2) 払込金額	1株につき639円
(3) 払込金額の総額	999,971,100円
(4) 資本金組入額	1株につき320円
(5) 資本金組入額の総額	500,768,000円
(6) 募集又は割当方法	第三者割当による方法
(7) 割当予定先	Tech Growth Capital有限責任事業組合
(8) 申込期日	2021年4月13日
(9) 払込期間	2021年4月14日
(10) その他	上記各項については、金融商品取引法による届出の効力が発生していることを条件とします。

III. 株式の売出し

1. 売出要領

① 売出株式の種類及び数	当社普通株式952,700株
② 売出価格	1株につき575円
③ 売出価額の総額	547,802,500円
④ 売出株式の所有者及び売出株式数	ロイヤルホールディングス株式会社 952,700株
⑤ 売出方法	ロイヤルホールディングス株式会社によるTech Growth Capital有限責任事業組合に対する当社普通株式の譲渡
⑥ 申込期間	2021年3月25日
⑦ 受渡期日	2021年3月31日
⑧ 申込証拠金	該当事項はありません。
⑨ その他	上記各項については、金融商品取引法に基づく有価証券通知書を提出しております。

(注) 売出価格については、当事者間の協議において決定されております。

2. 本売出しの目的

本第三者割当増資に伴い、ロイヤルホールディングスとTech Growth Capitalとの間で、当社株式を市場外の相対取引により譲渡することを認識しましたので、関係法令の定める手続に則り、売出しにより譲渡を行うことを目的とするものであります。

本業務提携を行うにあたり、Tech Growth Capitalは当社議決権の20%程度の株式の取得を目指しておりますが、当社の資金需要、株主構成及び当社普通株式の新規発行による希薄化の状況を勘案して、本第三者割当増資のほか、2021年3月22日付けで、現在当社の筆頭株主兼主要株主であるロイヤルホールディングス（本店所在地：福岡県福岡市博多区、代表取締役社長（兼）CEO：黒須康宏）は、Tech Growth Capitalとの間で、ロイヤルホールディングスが保有する当社普通株式の一部である952,700株をTech Growth Capitalへ市場外の相対取引により譲渡する旨の契約を締結予定であることから、以下のとおり当社株式の売出し（以下「本売出し」といいます。）が行われます。なお、本第三者割当増資及び本売出しにより、当社は、ロイヤルホールディングスの持分法適用会社から除外される予定であります。

本売出しが実行された場合、Tech Growth Capitalが保有することとなる当社株式の数は、本第三者割当増資により割り当てられる1,564,900株と合計して2,517,600株（議決権数25,176個）となり、本第三者割当増資実行後の当社の発行済株式総数12,830,200株の19.62%（本第三者割当増資実行後の総議決権数125,740個に対する割合は20.02%、小数点以下第三位四捨五入。）にあたります。したがって、本第三者割当増資及び本売出しにより、当社はTech Growth Capitalの親会社であるミクシィの持分法適用会社となる予定であります。

IV 主要株主、主要株主である筆頭株主及びその他の関係会社の異動

1. 異動予定年月日

2021年4月14日

2. 異動が生じる経緯

前記「Ⅱ. 第三者割当による新株式発行」及び「Ⅲ. 株式の売出し」に記載のとおり、本第三者割当増資及び本売出しにより、以下のとおり、Tech Growth Capital及びミクシィは、当社の主要株主である筆頭株主及びその他の関係会社となる予定であり、併せて当社の主要株主である筆頭株主及びその他の関係会社に異動が生じる予定であります。

3. 異動する株主の概要

(1) 新たに主要株主である筆頭株主及びその他の関係会社となる予定の株主

新たに主要株主である筆頭株主及び新たにその他の関係会社となる予定のTech Growth Capital及びミクシィの概要は、前記「Ⅰ. 本業務提携基本契約書及び本投資契約書の締結の概要 3. 本業務提携基本契約書締結先及び本投資契約書締結先の概要」に記載のとおりです。

(2) 主要株主である筆頭株主及びその他の関係会社に該当しなくなる予定の株主

(1)	名称	ロイヤルホールディングス株式会社
(2)	住所	福岡県福岡市博多区那珂3-28-5
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長（兼）CEO 黒須康宏
(4)	事業内容	グループの経営を統括・管理する純粋持株会
(5)	資本金	13,676百万円

(注) 引き続き主要株主には該当いたします。

4. 異動前後における当該株主の所有する議決権の数（所有株式数）及び総株主の議決権数に対する割合

(1) Tech Growth Capital有限責任事業組合

	議決権の数 (所有株式数)	総株主の議決権の 数に対する割合※	大株主順位
異 動 前 (2021年2月28日現在)	-個 (-株)	-%	第-位
異 動 後	25,176個 (2,517,600株)	20.02%	第1位

(2) 株式会社ミクシィ

	属性	議決権の数（議決権所有割合）		
		直接保有分	合算対象分	合計
異動前 (2021年2月28日現在)		-個 (-株)	-%	第1位
異動後	その他の関係会社	-個 (-株)	25,176個 (20.02%)	第1位

(3) ロイヤルホールディングス株式会社

	議決権の数 (所有株式数)	総株主の議決権の 数に対する割合※	大株主順位
異動前 (2021年2月28日現在)	32,490個 (3,249,000株)	29.51%	第1位
異動後	22,963個 (2,296,300株)	18.26%	第2位

- (注) 1. 異動前については、2021年2月28日現在の株主名簿を基準としたものを記載しております。
2. 異動後については、2021年2月28日現在の議決権の数（110,091個）に、本第三者割当により増加した議決権の数（15,649個）を加算した議決権の数（125,740個）に基づいて算出しております。
3. 異動前及び異動後の議決権所有割合は、小数点以下第3位を四捨五入して表示しております。

5. 開示対象となる非上場の親会社等の変更の有無等
該当事項はありません。

6. 今後の見通し
今後の見通しについては、前記「Ⅱ. 第三者割当による新株式の発行 8. 今後の見通し」をご参照ください。

以上



株式会社ミクシィとの業務提携及び Tech Growth Capital有限責任事業組合との資本提携に関する説明資料

株式会社ハブ

(証券コード：3030)

2021年3月22日



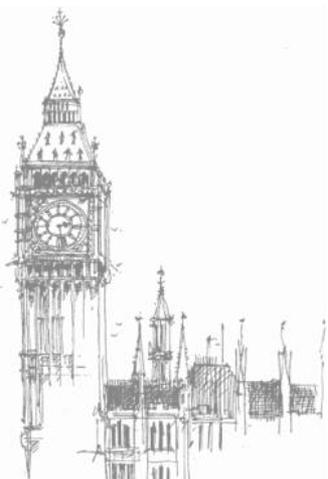
Operating a "exciting culture creation business" through British pubs in order to spread British pub culture in Japan and provide enjoyment to customers

Honest management. Honesty is the fundamental policy of our company management. We always engage in sincere management which focuses on being fair, impartial, and open.

Steady management. We pursue steady growth by refining our business categories.

Constant improvement in management. We prioritize an open corporate climate through free discussion, sharing of ideas, and immediate action. We encourage ceaseless innovation through participation from all employees.

Employee-oriented management. We value our employees as leaders who embody our management philosophy.



決議事項

- ①株式会社ミクシィとの業務提携に関する基本契約締結
- ②Tech Growth Capital有限責任事業組合との投資契約締結、
Tech Growth Capital有限責任事業組合を割当先とする普通株式の発行
- ③金融機関からの借入れ及びコミットメントラインに関する契約締結(3,600~4,000百万円)
※調整中

* Tech Growth Capital有限責任事業組合への第三者割当増資により、当社の筆頭株主及び社外役員の異動が見込まれます
* 業務提携にあたり株式会社ミクシィとの協業推進部署の設置を予定(株式会社ミクシィより推進人員の参画)



Operating a "exciting culture creation business" through British pubs in order to spread British pub culture in Japan and provide enjoyment to customers

Honest management.Honesty is the fundamental policy of our company management.We always engage in sincere management which focuses on being fair, impartial, and open.

Steady management.We pursue steady growth by refining our business categories.

Constant improvement in management.We prioritize an open corporate climate through free discussion, sharing of ideas, and immediate action. We encourage ceaseless innovation through participation from all employees.

Employee-oriented management.We value our employees as leaders who embody our management philosophy.

目的と施策

目的

- コロナ禍による一過性の業績悪化により棄損した財務基盤の早期改善
- 「新しい生活様式」をはじめとする変化した事業環境への対応

施策

- 株式会社ミクシィとの業務提携
- Tech Growth Capital有限責任事業組合との資本提携
- 金融機関からの借入れ・コミットメントライン契約締結



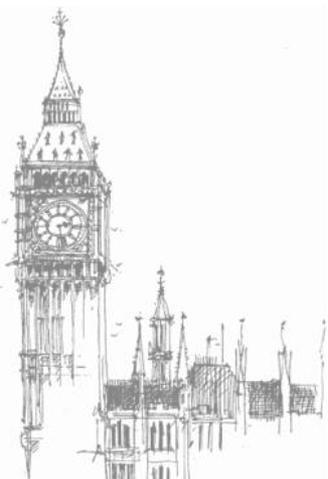
Operating a "exciting culture creation business" through British pubs in order to spread British pub culture in Japan and provide enjoyment to customers

Honest management.Honesty is the fundamental policy of our company management.We always engage in sincere management which focuses on being fair, impartial, and open.

Steady management.We pursue steady growth by refining our business categories.

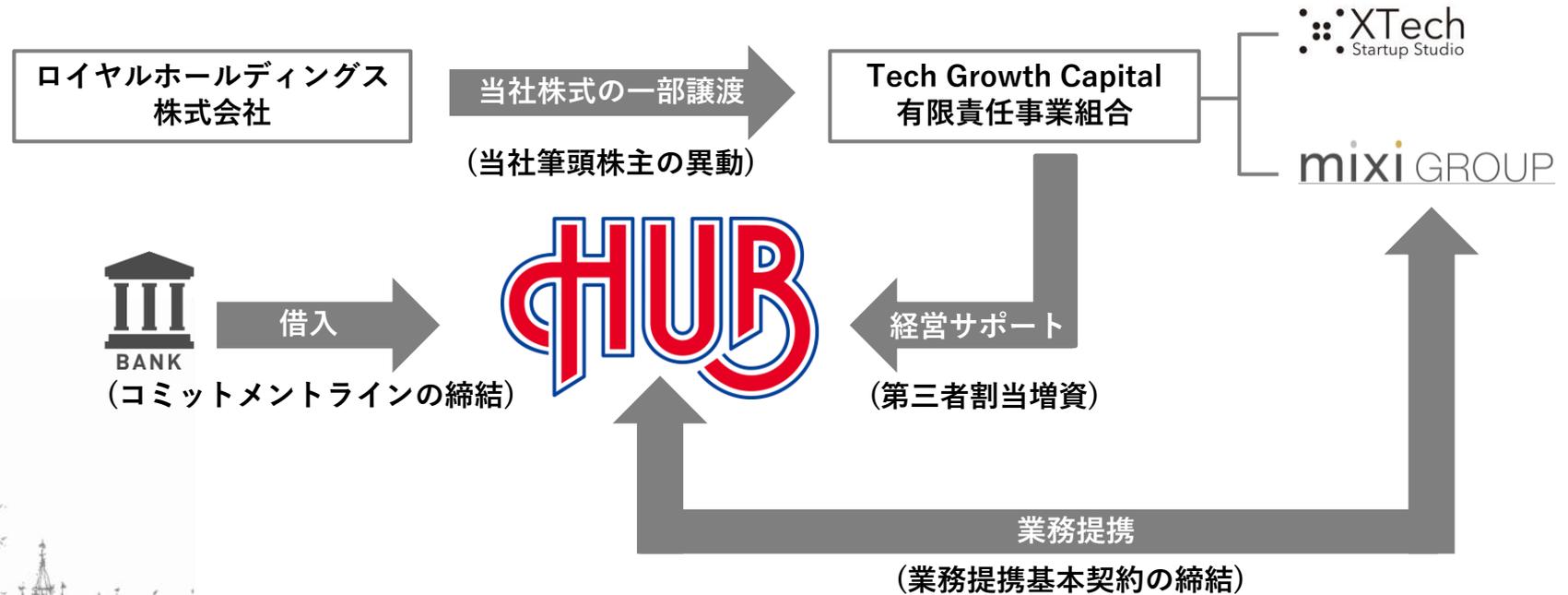
Constant improvement in management.We prioritize an open corporate climate through free discussion, sharing of ideas, and immediate action. We encourage ceaseless innovation through participation from all employees.

Employee-oriented management.We value our employees as leaders who embody our management philosophy.



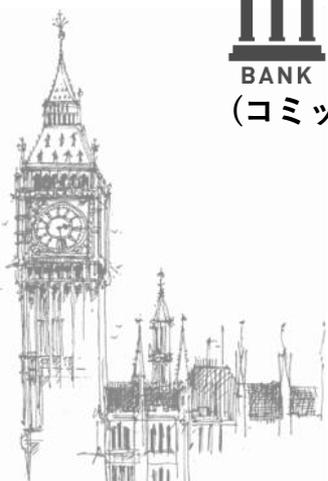
本取引の概要

Tech Growth Capital有限責任事業組合はロイヤルホールディングス保有の当社株式の一部を譲受及び第三者割当増資により、筆頭株主となる予定でございます。Tech Growth Capital有限責任事業組合の組合員である株式会社ミクシィとは別途業務提携基本契約の締結をいたします



Operating a "exciting culture creation business" through British pubs in order to spread British pub culture in Japan and provide enjoyment to customers

Honest management...Honesty is the fundamental policy of our company management...We always engage in sincere management which focuses on being fair, impartial, and open.
 Steady management...We pursue steady growth by refining our business categories.
 Constant improvement in management...We prioritize an open corporate climate through free discussion, sharing of ideas, and immediate action. We encourage ceaseless innovation through participation from all employees.
 Employee-oriented management...We value our employees as leaders who embody our management philosophy.



XTech株式会社と株式会社ミクシィによる共同運営のファンドとなっております

強み

1. 資本提供のみならず、財務体質強化～新規事業創出まで一気通貫でサポート
2. IT業界を熟知したメンバーならではのノウハウや人脈の活用
3. 事業会社ならではのアセット(相互誘引、マーケティング等)活用によるシナジー創出

主力サービス・事業

XTech
Startup Studio

事業再生

2018年12月の新経営体制から
4ヶ月後に黒字化

投資先支援

Biz Suite

投資先におけるバックオフィス支援

**PROFESSIONAL
STUDIO**

投資先への幹部人材紹介サービス

mixi GROUP

デジタルエンターテインメント



世界累計利用者数5,400万人超の
ひっぱりハンティングRPG

スポーツ

TIPSTAR

のっかりベッティング



1,100万MAUの国内最大級
競馬総合メディア

チキ・LOTO

競輪・オートレース車券販売

CHIBA JETS

B.LEAGUE所属、
プロバスケットボールチーム

このページの記載は、Tech Growth Capital有限責任事業組合からの情報に基づくものです。

Operating a "exciting culture creation business" through British pubs in order to spread British pub culture in Japan and provide enjoyment to customers

Honest management. Honesty is the fundamental policy of our company management. We always engage in sincere management which focuses on being fair, impartial, and open.

Steady management. We pursue steady growth by refining our business categories.

Constant improvement in management. We prioritize an open corporate climate through free discussion, sharing of ideas, and immediate action. We encourage ceaseless innovation through participation from all employees.

Employee-oriented management. We value our employees as leaders who embody our management philosophy.

資本提携及び業務提携の概要

Tech Growth Capital有限責任事業組合との資本提携

- 普通株式(999,971,100円) - 第三者割当増資による資本増強

株式会社ミクシィとの業務提携

- 両当事者それぞれが保有する経営資源を相互に活用することによる、それぞれのサービスの拡充及び新規事業の検討・開発
- 両当事者が共同して行う新業態（既存又は新規店舗を活用するものを含む。）への投資、及び、新業態の企画、開発並びに運営
- 両当事者それぞれの強みを活かしたユーザー体験の向上及びマーケティング事業の推進
- その他当社及びミクシィが別途合意した事項

各社役割

■ 株式会社ハブ

- ハブの店舗における、ミクシィ及びその子会社又は関連会社の提供するサービスとのコラボレーションの実施
- マーケティング強化におけるミクシィグループとの連携
- ミクシィグループが提供する新規サービスの導入
- その他ハブ及びミクシィが別途合意した事項

■ 株式会社ミクシィ

- ミクシィグループの提供する各種サービスにおいてハブの宣伝等を行うことによる、ミクシィグループの顧客・ユーザーに対するハブ店舗への誘引
- ハブの店舗内で放映する映像コンテンツの提供及び映像・配信コンテンツに係る権利関係の整備・調整支援
- マーケティング、イベント企画支援
- 新規事業の検討及び提案
- その他ハブ及びミクシィが別途合意した事項

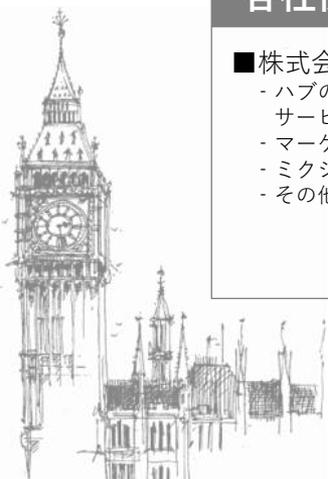
Operating a "exciting culture creation business" through British pubs in order to spread British pub culture in Japan and provide enjoyment to customers

Honest management.Honesty is the fundamental policy of our company management.We always engage in sincere management which focuses on being fair, impartial, and open.

Steady management.We pursue steady growth by refining our business categories.

Constant improvement in management.We prioritize an open corporate climate through free discussion, sharing of ideas, and immediate action. We encourage ceaseless innovation through participation from all employees.

Employee-oriented management.We value our employees as leaders who embody our management philosophy.



主要株主である筆頭株主の異動の概要

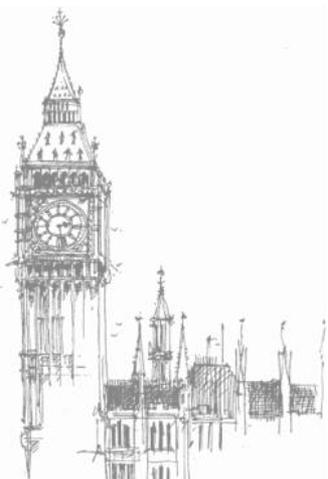
Tech Growth Capital有限責任事業組合はロイヤルホールディングス保有の当社株式の一部を譲受け、当社の議決権比率20%以上を有する主要株主である筆頭株主となる予定です

(1)新たに主要株主である筆頭株主に該当することとなる株主の概要

名称	Tech Growth Capital有限責任事業組合
所在地	東京都中央区八重洲一丁目5番20号 東京建物八重洲さくら通りビル3階
組合員	XTech株式会社、株式会社ミクシィ

(2)主要株主である筆頭株主に該当しなくなる株主の概要

名称	ロイヤルホールディングス株式会社
所在地	東京本部：東京都世田谷区桜新町一丁目34番6号 本社：福岡県福岡市博多区那珂三丁目28番5号
代表者	代表取締役会長：菊地 唯夫 代表取締役社長 兼 CEO：黒須 康宏



Operating a "exciting culture creation business" through British pubs in order to spread British pub culture in Japan and provide enjoyment to customers

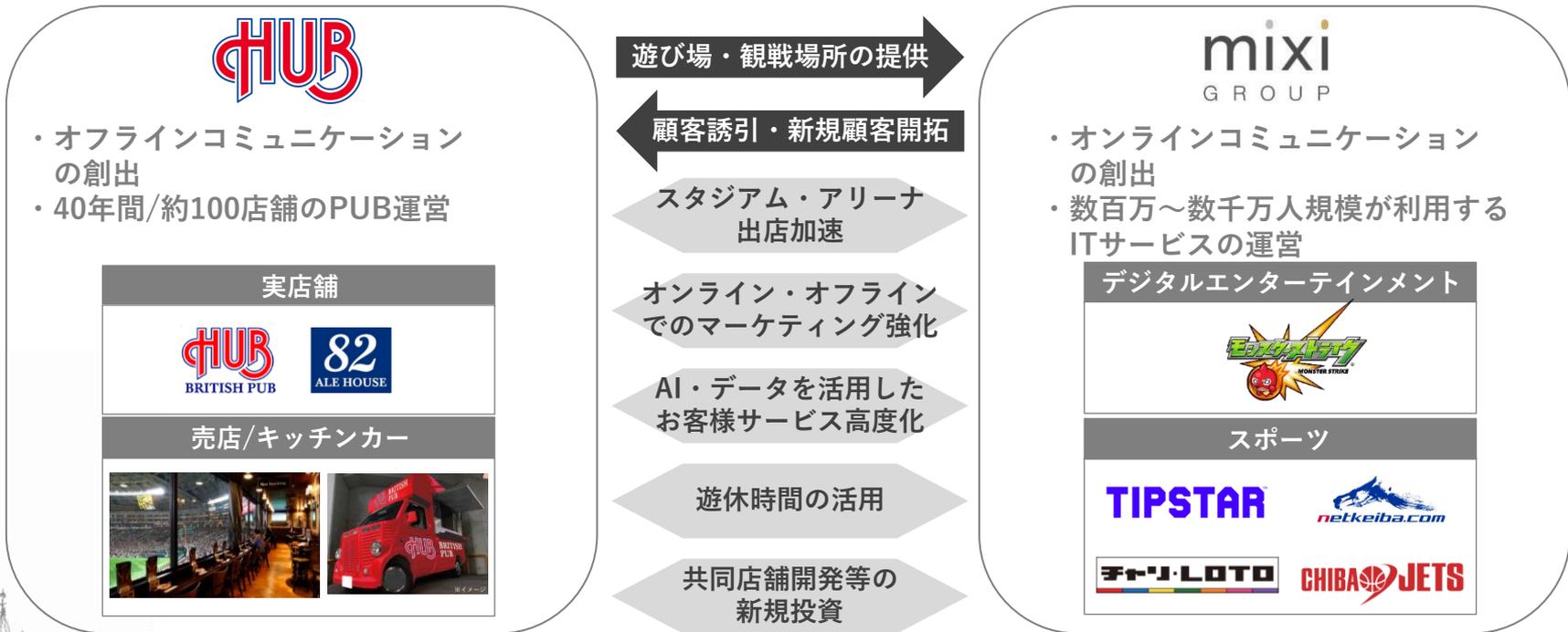
Honest management.Honesty is the fundamental policy of our company management.We always engage in sincere management which focuses on being fair, impartial, and open.

Steady management.We pursue steady growth by refining our business categories.

Constant improvement in management.We prioritize an open corporate climate through free discussion, sharing of ideas, and immediate action. We encourage ceaseless innovation through participation from all employees.

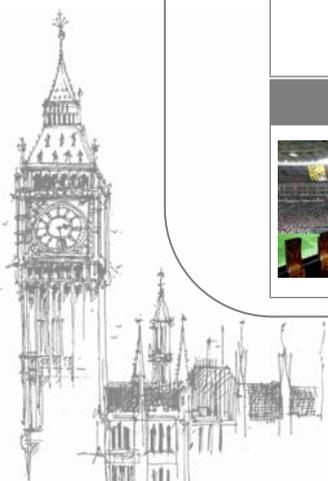
Employee-oriented management.We value our employees as leaders who embody our management philosophy.

友達や仲間がワイワイガヤガヤできる「コミュニケーションの場」を創出することにこだわってきた両社のアセットを最大限活用することで、大きなシナジーの創出を見込んでおります



Operating a "exciting culture creation business" through British pubs in order to spread British pub culture in Japan and provide enjoyment to customers

Honest management...Honesty is the fundamental policy of our company management...We always engage in sincere management which focuses on being fair, impartial, and open.
 Steady management...We pursue steady growth by refining our business categories.
 Constant improvement in management...We prioritize an open corporate climate through free discussion, sharing of ideas, and immediate action. We encourage ceaseless innovation through participation from all employees.
 Employee-oriented management...We value our employees as leaders who embody our management philosophy.





株式会社ミクシィとの業務提携(具体例)

株式会社ミクシィの有する各サービスからハブに誘引し、オフライン・オンラインそれぞれの場でお客様に楽しんでいただけるコンテンツの提供を予定しております



- ライブ配信
- オフラインコラボイベントの開催
- オリジナルドリンク/ポップ等



- ドリンククーポン提供
- オンラインコラボイベントの開催
- メディア送客等



TIPSTAR™



チリ・LOTO



netkeirin



* 社会情勢・市場環境を踏まえ実際の内容は協議中であり、今後詳細が確定した段階で順次発表予定

Operating a "exciting culture creation business" through British pubs in order to spread British pub culture in Japan and provide enjoyment to customers

Honest management.Honesty is the fundamental policy of our company management.We always engage in sincere management which focuses on being fair, impartial, and open.

Steady management.We pursue steady growth by refining our business categories.

Constant improvement in management.We prioritize an open corporate climate through free discussion, sharing of ideas, and immediate action. We encourage ceaseless innovation through participation from all employees.

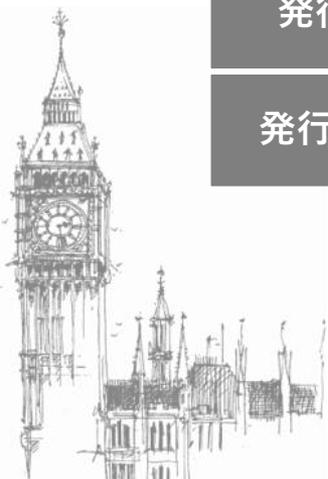
Employee-oriented management.We value our employees as leaders who embody our management philosophy.



第三者割当増資の概要

振込期日	2021年4月14日（予定）
割当先	Tech Growth Capital有限責任事業組合
払込総額	999,971,100円
発行価額	639円(発行決議日の前取引日終値の90%＊)
発行株式数	1,564,900株

*2021年3月19日



Operating a "exciting culture creation business" through British pubs in order to spread British pub culture in Japan and provide enjoyment to customers

Honest management.Honesty is the fundamental policy of our company management.We always engage in sincere management which focuses on being fair, impartial, and open.

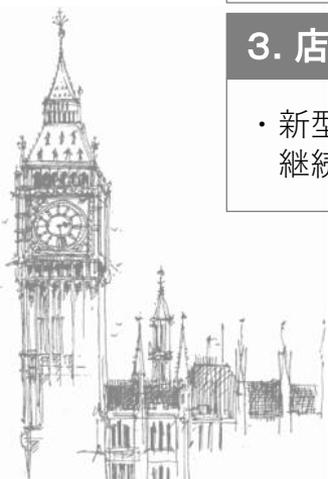
Steady management.We pursue steady growth by refining our business categories.

Constant improvement in management.We prioritize an open corporate climate through free discussion, sharing of ideas, and immediate action. We encourage ceaseless innovation through participation from all employees.

Employee-oriented management.We value our employees as leaders who embody our management philosophy.

金額（百万円）

1. 新規事業投資	200
<ul style="list-style-type: none"> 株式会社ミクシィのサービス・コンテンツと連携した新規事業開発 	
2. 既存事業投資	286
<ul style="list-style-type: none"> 感染予防対策強化、食事メニュー強化、経年劣化対策 HUBトラック（キッチンカー）事業への投資 ECサイトなど変化に対応する新たなビジネス展開 	
3. 店舗新規投資	500
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大の社会情勢等を考慮しつつ継続的に新規出店 	



Operating a "exciting culture creation business" through British pubs in order to spread British pub culture in Japan and provide enjoyment to customers

Honest management. Honesty is the fundamental policy of our company management. We always engage in sincere management which focuses on being fair, impartial, and open.

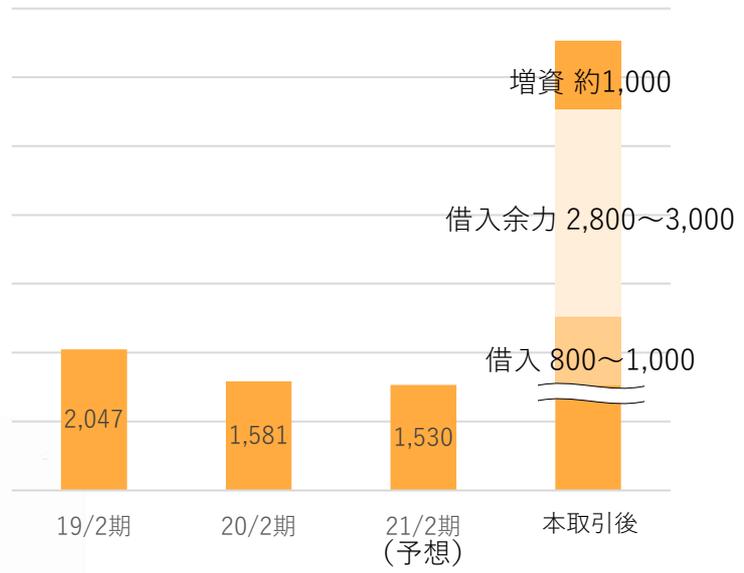
Steady management. We pursue steady growth by refining our business categories.

Constant improvement in management. We prioritize an open corporate climate through free discussion, sharing of ideas, and immediate action. We encourage ceaseless innovation through participation from all employees.

Employee-oriented management. We value our employees as leaders who embody our management philosophy.

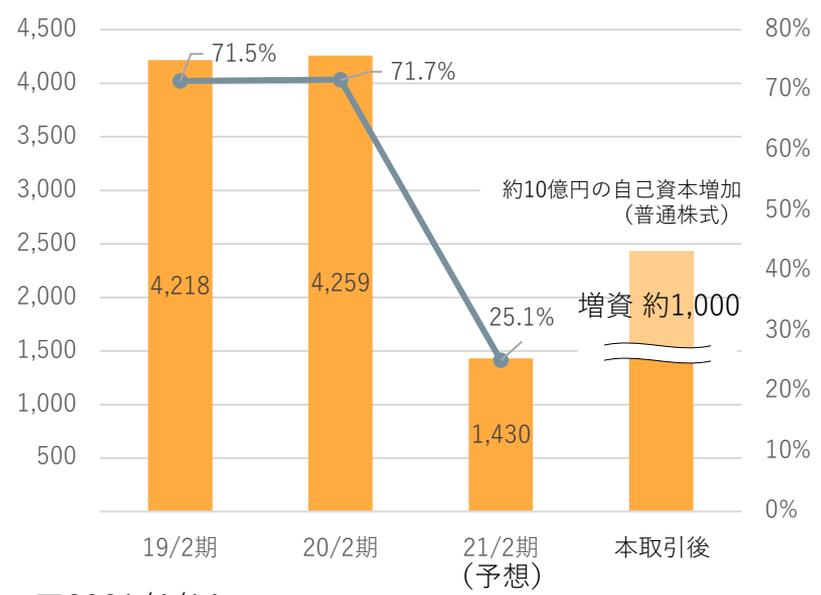
財務基盤の強化

現預金残高



- 2021/3末(予定)
 - ・ 借入余力込で3,600~4,000百万円の確保 (2020/4の契約分の借換え更新)

自己資本額・自己資本比率

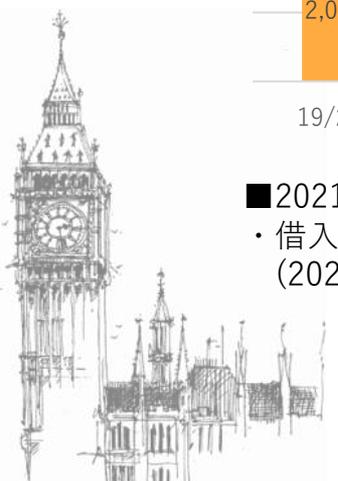


- 2021/4/14
 - ・ Tech Growth Capital有限責任事業組合による増資 約1,000百万円

* 2021/4末~長期借入金6億(全額商工中金)の約束弁済予定(48回)
* 新たに長期借入金として2~5億程度の新規契約締結を交渉中

Operating a "exciting culture creation business" through British pubs in order to spread British pub culture in Japan and provide enjoyment to customers

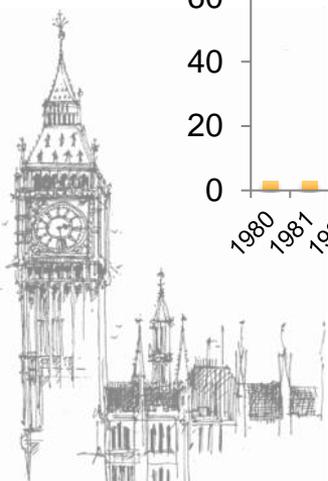
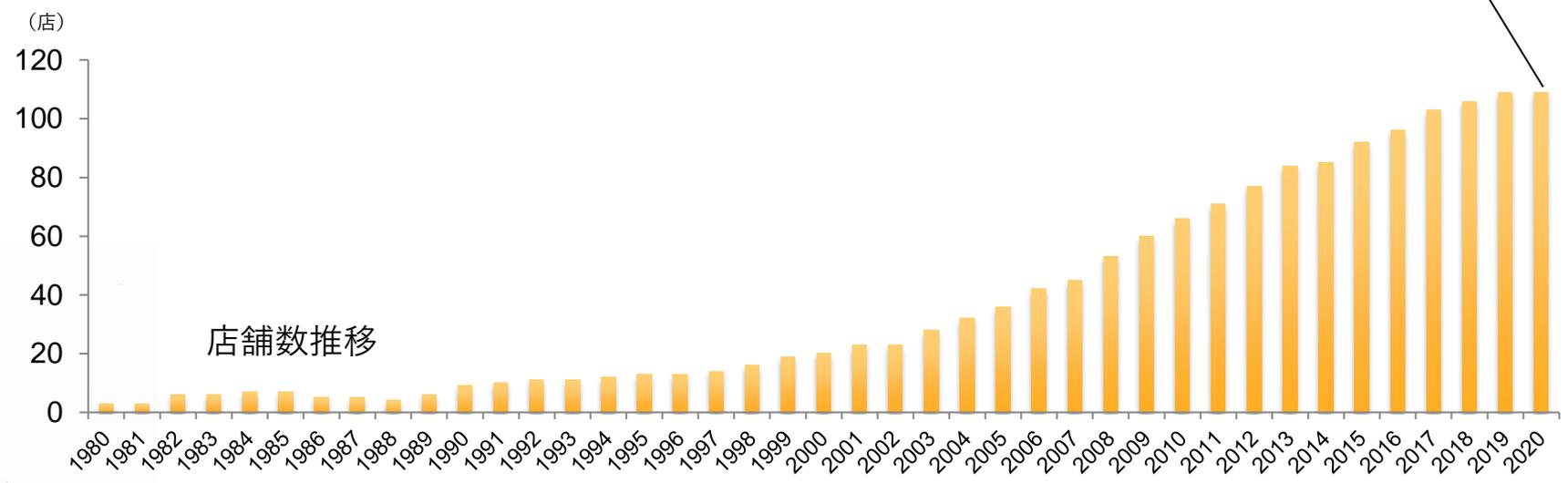
Honest management. Honesty is the fundamental policy of our company management. We always engage in sincere management which focuses on being fair, impartial, and open.
Steady management. We pursue steady growth by refining our business categories.
Constant improvement in management. We prioritize an open corporate climate through free discussion, sharing of ideas, and immediate action. We encourage ceaseless innovation through participation from all employees.
Employee-oriented management. We value our employees as leaders who embody our management philosophy.



店舗数推移

今後、9店舗の閉店を(閉店日未定)を決定しております
 コロナ禍における店舗数の見直しを行いつつ、本取引後に新規出店も検討予定です

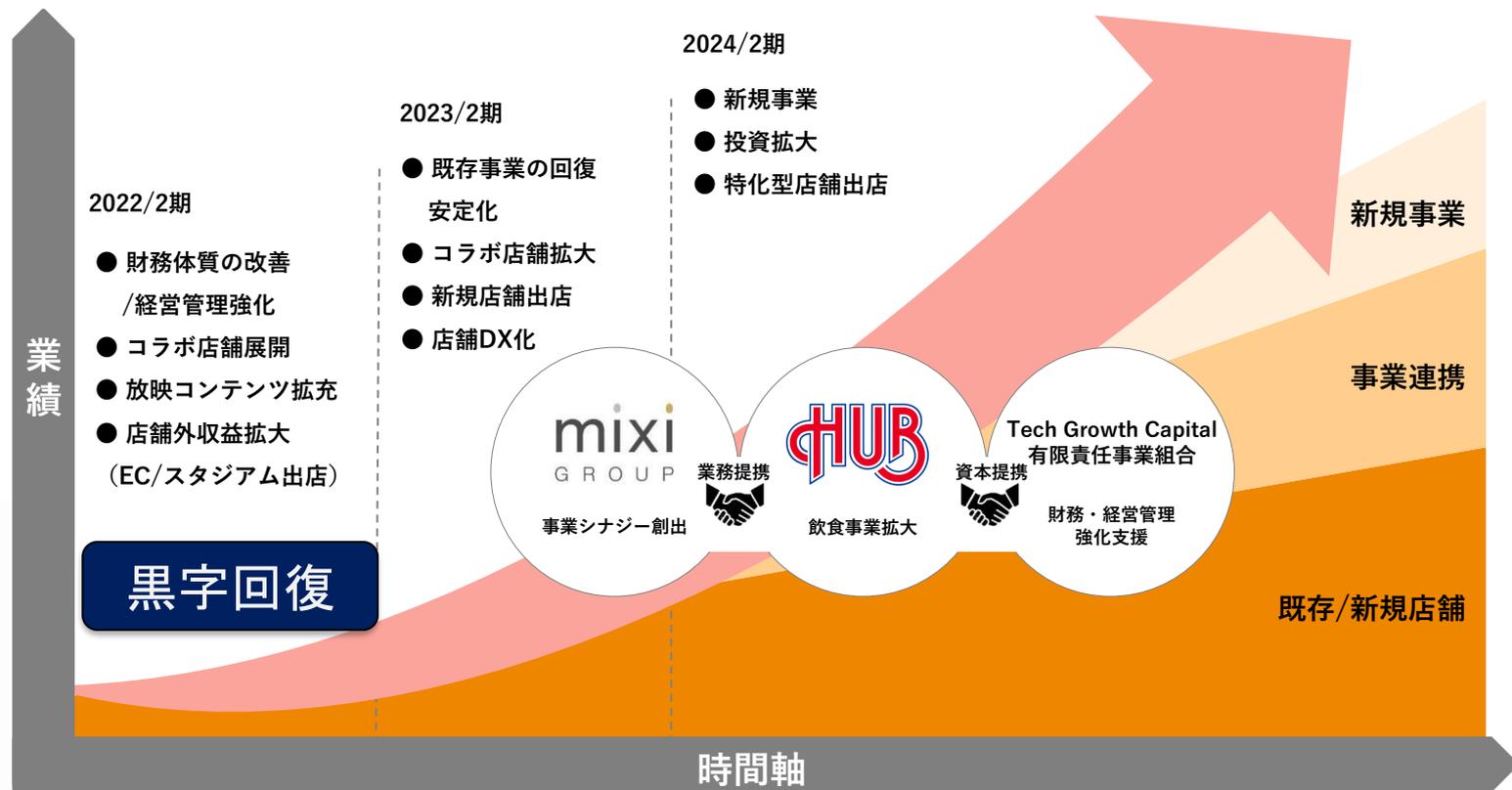
2021年3月22日現在 109店舗



Operating a "exciting culture creation business" through British pubs in order to spread British pub culture in Japan and provide enjoyment to customers

Honest management...Honesty is the fundamental policy of our company management...We always engage in sincere management which focuses on being fair, impartial, and open.
 Steady management...We pursue steady growth by refining our business categories.
 Constant improvement in management...We prioritize an open corporate climate through free discussion, sharing of ideas, and immediate action. We encourage ceaseless innovation through participation from all employees.
 Employee-oriented management...We value our employees as leaders who embody our management philosophy.

今後の成長戦略



Operating a "exciting culture creation business" through British pubs in order to spread British pub culture in Japan and provide enjoyment to customers

Honest management. Honesty is the fundamental policy of our company management. We always engage in sincere management which focuses on being fair, impartial, and open. Steady management. We pursue steady growth by refining our business categories. Constant improvement in management. We prioritize an open corporate climate through free discussion, sharing of ideas, and immediate action. We encourage ceaseless innovation through participation from all employees. Employee-oriented management. We value our employees as leaders who embody our management philosophy.